

洞爺湖有珠山ジオパークには、信仰の対象になった山、開拓の物語が秘められた山など、個性豊かな山々がたくさんあります。山頂からの眺めはもちろん、花々の美しさや野鳥の声を楽しめるのも

登山の魅力です。

実は、ジオパーク内にある山はほとんどが火山です。今回はその成り立ちの物語と、登山道をご紹介します。

火山が作った形を楽しむ 昆布岳 (こんぶだけ)

- 場 所 豊浦町とニセコ町の境
- 標 高 1044.9 m (登り約 180 分、下り約 120 分)
- 名 前 アイヌ語の「コンボヌプリ」「トコンボヌプリ」(こぶ山の意味) が由来と言われる。昆布は当て字。
- 山の姿 なだらかな裾野と、山頂部のコブのような形が特徴的。
- 成り立ち 約 300 万年前に活動した火山で、雨や雪で浸食がすすみ、なだらかになった。
- 見どころ 5 合目近くにある「メガネ岩」。自然にできたアーチは、溶岩が冷えて残ったもの。



北海道地質百選のひとつ『メガネ岩』



稜線続きの前紋別岳からの眺望。
洞爺湖や羊蹄山が見えることも

登山初心者にもおすすめ 紋別岳 (もんべつだけ)

- 場 所 伊達市
- 標 高 715 m (登り約 130 分、下り約 110 分)
- 名 前 アイヌ語の「モペツ」(静か・川の意味) が由来と言われる。親しみを込めて「東山」と呼ぶ人も多い。
- 山の姿 なだらかな裾野で、稜線には笹原が広がる。
- 成り立ち 数十万年前に活動した火山。明治時代の開拓当時、笹で覆われていた 3 合目(草分け神社跡)付近では、木を育てるために馬や牛を放牧し下草を食べさせていたそう。
- 見どころ 春に見られるシラネアオイの群生が人気。

噴火を繰り返してきた山 有珠山 (うすざん)

- 場 所 伊達市・壮瞥町・洞爺湖町
- 標 高 733 m (登り約 90 分、下り約 60 分が目安)
山頂部を囲む外輪山ルートが登山道になっている。
- 名 前 アイヌ語の「ウス」(入江、湾の意味) が由来と言われる。
- 山の姿 ごつごつした溶岩ドームが特徴。
- 成り立ち 約 1～2 万年前に誕生した火山。その後大きく崩れたが、再び噴火を繰り返し、上部にいくつもの溶岩ドームができた。
- 見どころ 1977 年の噴火口「銀沼火口」と有珠新山。



有珠山外輪山展望台から見た有珠新山と
銀沼火口(手前右)

※登山を楽しむために、登山靴・防寒具・飲料水など装備、体調管理はしっかりと。
※「入山届」(各登山口に設置されています) にも、記入を忘れずに。